



高花平だより

2017. 7. 19
第 9 号

四日市市立高花平小学校

毎朝校門で子どもたちを迎えています、汗びっしょりになって疲れ切った表情で登校してくる子どもたちが目立つようになりました。暑さに負けるな！とエールを送りたい心境になります。

ともだち学級の「なつまつり」

7月11日（火）・12日（水）の2日間、ともだち学級の子どもたちが、ふれあいタイム（2限目と3限目の間の休み時間）に“なつまつり”を企画しました。場所は視聴覚室。「射的」「金魚釣りゲーム」「輪投げ」のコーナーを作



って、参加を全校児童に呼びかけました。たくさんの子どもたちが来場して、ともだち学級の子どもたちは驚いていました。ルール説明や受付など一人一人が役割を持って運営できていました。1日目の反省をして、2日目に生かそうと努力していました。緊張もした大変なことでも多かったと思いますが、力を合わせてやりきることができて、満足感も大きかったのではないのでしょうか。

笹がわちゅうがっこう えいご せんせい じゅぎょう 笹川中学校の英語の先生が授業



7月12日（水）、笹川中学校の英語の先生が6年生を対象に英語の授業を行いました。「へボン式で正しくていねいに名前をかけるようにしましょう」がねらいです。「中学校の先生ってどんなだろう」と、初めは緊張気味だった子どもたちも、先生の軽妙な語り口に安心したのか、のびのびと授業を受けていました。中学校に対して不安を感じていた子がいたとしたら、少しは安心感を持てたのでしょうか。2学期と3学期にも1回ずつ予定しています。

うみ かわ お とき ねんせい ちゃくいすいえい たいけん 海や川に落ちた時どうするか・3・6年生が着衣水泳を体験

7月14日（金）、四日市海上保安庁の海上保安官4名に来ていただいて、3・6年生が着衣水泳の指導を受けました。

海や川に落ちてしまったときは、体力を使わないで、呼吸ができるようにあおむけに浮いて助けを待つことが大切だそうです。まず、服や靴を身につけたままプールに入り、体の動きがどうなるか体験しました。「動けない」「泳ぎにくい」いつもとは違う感覚に子どもたちは戸惑っていました。次に、ペットボトルを浮き輪として使って、あおむけに浮く（背浮きといいます）練習をしました。“習うより慣れろ”です。四苦八苦しながらも子どもたちは背浮きのコツをつかんでいきました。また、救命胴衣を着て背浮きをする体験もしました。

子どもたちは、服を着たままプールに入ること、水中での動きにくさや濡れた服の重さを感じとり、いざというときの心構えができたのではないのでしょうか。

